

## 実施要項

江戸東京たてもの園（江戸東京博物館分館）では、建物を移築した野外博物館としての利点を活かし、古い建物の中で昔の生活の道具が実際に使用されている様子を観察することができます。

「昔くらし体験」では、生活の中で使われていた道具や作業の様子を間近で観察することで、「囲炉裏」とその道具を使っていた頃の人々のくらしについての理解を深めることができます。ぜひ御活用ください。

### 1 対象

小学校3年生（社会科「道具とくらしのうつりかわり」学習を想定した体験プログラム）

### 2 体験内容

- (1) 囲炉裏体験（建物内にある囲炉裏で火を焚く様子を御覧いただきながら、煙の匂い、囲炉裏で使用する道具を観察し、囲炉裏の役割についての理解を深めます）
- (2) 昔の道具解説（囲炉裏や火鉢で使う道具の解説と、薪・炭・消し炭の違い、さらには灰の利用など、資源を効果的に使い切る昔のくらしについての理解を深めます）
- (3) その他、東ゾーン等で使用できるワークシートが利用できます。

※（1）及び（2）の指導は当園学芸員が行います。

※園内移動での児童の誘導は、付き添いの教職員が必ず行ってください。

### 3 実施日時

- ・毎週木曜日、第一・第三火曜日（令和4年10月から令和5年3月中旬まで、祝日及び休園日を除く）
- ・10時から12時まで（2時間）
- ・園行事やその他事業等によりお受けできない日があります。
- ・予約した体験日時の変更・延期・予備日の設定はお受けできません。
- ・体験実施日以外の御来園は、随時、団体見学にてお受けしております。

### 4 所要時間

- ・各クラス30分程度（1クラスを半分に分けて、吉野家と綱島家を見学いただきます）
- （内訳）吉野家：見学・解説～15分程度（1クラスの半分／上限18名）
- 綱島家：ワークシート～15分程度（1クラスの半分／上限18名）
- ・別紙「昔くらし体験 基本スケジュール（学校配布用）」を御確認ください。

## 5 受入校数

- ・1日につき1校のみ（100名程度まで）
- ・1校を複数日に分けて実施することはできません。
- ・学級数や児童数の多い学校は、体験が制限される場合があります。

## 6 実施場所

- ・吉野家、綱島家（西ゾーン内）
- ・工事等により、実施場所を変更する場合があります。

## 7 班編成

1グループにつき7～8名程度

※屋内での実施のため、密な状態を避けるために1回の人数を制限します。1グループ上限9名、最大12グループを目途に編成してください。

## 8 申し込み方法

令和4年8月上旬よりお電話で申し込みを受付けます（先着順、Eメール不可）。

受付け後に当園昔くらし担当宛てにEメールを送付してください（4ページ「問合せ先」参照）。折り返し担当より「受付確認、実踏・打ち合わせについて、減免申請のご案内」をEメールにて送付します。

## 9 実地踏査（下見） \*悉皆

体験を希望する学校は、開園時間内に実地踏査（下見）を必ず行ってください。

### 〈事前確認ポイント〉

- ① 実施場所の位置や移動時間、園内避難場所  
（「13 地震が発生した場合の対応」参照）等
- ② 園内の新型コロナウイルス感染拡大防止対策の状況  
例：復元建造物内部の公開中止等

※当園HPで最新情報を必ず御確認ください（実地踏査日及び実地日共）。

教職員の方が実地踏査（下見）される場合は入園料が無料になります。受付（インフォメーション）にてその旨お申し出いただき、身分証明書など所属のわかるものを御来園される人数分御提示ください。

## 10 打合せ \*希望校のみ（予約制）

体験内容の詳細や持ち物、円滑に実施するためのお願いや注意事項、事前学習のポイントなどについてお話しします。御希望の場合は担当までお問合せください。調整の上、実施日を決定させていただきます。

## 11 見学及び体験に際してのお願い

江戸東京たてもの園を御見学いただくにあたり、建造物保存の観点から次の事項につきまして、あらかじめ児童の皆様にご周知いただきますよう御配慮願います。

- (1) 江戸東京たてもの園は、東京の歴史や建物について学ぶ博物館施設です。静かに見学しましょう。
- (2) 見学中は大きな声を出したり、走ったりして、他の人の迷惑にならないよう注意しましょう。
- (3) 建造物内では、飲食はできません。こぼしたりすると大切な文化財を傷めることにもなりますので止めましょう。
- (4) 園内のものはどれも大切な文化財です。「手を触れないでください」と書いてある展示物には、絶対に触らないようにしましょう。
- (5) パンフレットや園内の注意書きをよく読みましょう。わからないことは園内スタッフに聞きましょう。
- (6) グループに分かれて見学する場合は、グループごとに見学マナーをしっかり守りましょう。

◆当園 HP「ご利用案内・アクセス」の下階層「たてもの園からのお願い」には、来園に関する注意事項をまとめています。御参考にしてください。  
<https://www.tatemonoen.jp/raien/cautions.php>



園内の見学には、肩掛けタイプの画板(ボード)を御持参されることをお勧めします。



仕上がりは A6 サイズの冊子になります。ハサミを使う際は十分御注意ください。

建物に入る時は、大きな荷物は持たない(預ける)か、もしくは抱えて持つようにしてください。

◆当園 HP「学校関係の方へ」には、A3 用紙に両面印刷をして使える学校向け「江戸東京たてもの園 見学のしおり」を掲載しています。古い建造物を守りながら学ぶために、10 の約束と園内マップをまとめたしおりです。  
[https://www.tatemonoen.jp/contact/images/tour\\_guide\\_booklet.pdf](https://www.tatemonoen.jp/contact/images/tour_guide_booklet.pdf)



## 12 入園料

小学生は、入園無料です。都内の小・中・高校生とその引率者が教育活動として観覧する場合は、入園料が免除されます。(事前の承認が必要です。)

※当園より Eメールでお送りする「減免申請のご案内」にしたがい、体験実施日の 2 週間前までに Eメールにて申請ください。申請日は実地踏査(下見)終了後の日付にしてください。減免承認書は体験当日にお渡しします。

※付添いの保護者やカメラマンは免除対象となりません。事前に入園券をお求めください。

### 13 地震が発生した場合の対応

#### (1) 体験中の場合など建造物の中にいる場合

その場で体験を中止し、まず児童を落ち着かせてください。

落下物によるケガ等を避けるため、揺れがおさまるまで建造物の外に出ないでください。

#### (2) 建造物を外から見学時や園内を移動中

瓦などが落ちてくる場合がありますので、建造物に近づかないでください。

#### (3) 大きな地震が発生した場合

園内放送が入ります。教職員のみなさまは放送や警備員等の指示に従って児童・生徒の避難誘導をお願いします。

※園内の避難場所はエントランス広場及び東の広場（藤棚の前）です。実地踏査（下見）時に必ず御確認ください。

### 14 その他

#### (1) 雨天時

体験は復元建造物内で実施しますので、雨天の場合でも体験していただけます。

※雨具(かさ・カッパ等)のお取扱い、紛失に御注意ください。

#### (2) 飲食可能な場所

園内の建物（30棟の復元建造物）内は、天候にかかわらず飲食禁止です。飲食は、園内エントランス広場、東の広場、ベンチ設置箇所などを御利用ください。

※東ゾーン・店蔵型休憩棟1階は、どなたでもお使いいただけるスペースとなっており、一般のお客様も御利用になります。特定の団体のみでの占有は御遠慮いただいております。

譲り合ってお使いください。

#### (3) 昼食場所の予約

飲食可能な屋内施設は、プレハブ棟（東ゾーン子宝湯北側）2階のみです。

利用を希望される場合は、予約が必要となりますので体験申込時にお申し出ください。

※教育活動で来園される団体の昼食場所や荷物置き場としてお使いいただけます。

※密な状態を避けるため、プレハブ棟の収容定員は現在20名程度としております。定員を超える場合は、時間差でお使いいただくなど御考慮願います。

※プレハブ棟1階は園内スタッフが使用しています。机・椅子の移動や昼食時は大きな音をたてないよう御配慮願います。

#### (4) 感染症対策のお願い

マスクの着用、手指消毒・手洗い、検温などの感染症対策は各学校で事前に御指導ください。

※入園時の検温で37.5℃以上の発熱があると認められた際は入園をお断りします。

### 問合せ先

江戸東京たてもの園 昔くらし体験担当

住所：東京都小金井市桜町三丁目7番1号（都立小金井公園内）

電話：042-388-3300(代) ファクシミリ：042-388-1711

Eメール：tatemono.jigy@edo-tokyo-museum.or.jp

## 令和4年度「昔くらし体験」申し込みの手順

